

旅案内

奥尻島

ゆったりと流れる島時間



● 島旅のアドバイス ● 宿泊施設の紹介

【奥尻島観光協会・観光案内所】

Okushiri Island Tourism Association (Information office)

TEL.01397-2-3456

【受付】8時30分～17時 土日祝は休み(夏期無休)

【奥尻町商工観光係】01397-2-2351

最新情報



<http://www.unimaru.com/>

奥尻島 検索

新型コロナウイルス感染防止について

奥尻島からのお願い

奥尻島では感染拡大防止のために各種対策を実施していますが、島へ越しの皆さまにもご理解とご協力をお願いしています。

- マスクを着用してください。
- こまめに手洗い・手指の消毒を。
- 飲食中の会話は控えめに。
- 混み合っている場所は後でゆっくりと。
- 人との間隔を空ける意識を。
- 屋内では定期的な換気をする。
- 毎朝の検温をおすすめします。



ご旅行・ご来島の際は、国や北海道から発令される「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」などの最新情報をご確認ください。

※本パンフレットの内容は、今後の新型コロナウイルスの感染状況により、変更・中止・延期となる場合があります。ご了承ください。

奥尻島 旅案内

■2021年0月00日 改訂13版 ■発行:奥尻町 ■編集・執筆:高山 潤(ものかき工房) ■英文監修:Ding Yuenpeng(陳 彦萌) ■撮影:及川雅夫・田原幸徳・高山 潤・奥尻島観光協会・奥尻島観光フォトコンテスト受賞作品 ■デザイン:小島和也

奇岩物語

Mystical Rocks of Okushiri

奇岩たちの偉容にふれて、
はるかな「時間」の流れを想う。

岩にあたっては砕ける日本海の波しづきは、
奥尻島に人々が住みつくずっと以前から、
海岸線に打ち寄せられ続けてきました。
静かに穏やかに、そしてときに荒々しく。

北海道本島（渡島半島）から約18 kmの

西方沖に浮かぶ奥尻島。島とを結ぶ

フェリーに乗り、奥尻海峡の波にゆられて

約2時間。島の玄関口である

奥尻港フェリーふ頭に降り立てば、

いよいよ離島旅の始まりです。奥尻島の

海岸線には、ほぼと通りと道路が通じ、自然が

つくりだした奇岩の姿をいくつも楽しめます。まずは

一日かけて、奇岩の表情と物語に出会う旅をおすすめします。

砂浜に腰を下ろしたり、防潮堤の上に立って腕組みを試みたり。

ひとつの岩の前で腰を落ち着け、ただじっとたたずんでみる。

奇岩旅の愉しみ方は様々です。訪れたその日の天候や時間帯、季節の違い、
見る者の気分。それらが相まって、岩は様々な表情を見せてくれます。

駆け足で島を一周した後で、お気に入りの岩を再訪するのも良いでしょう。

おそらく、奇岩たちはあと数万年は動く気配はありません。焦らずに。



Nabetsuru Iwa Rock (Okushiri Arch)

鍋釣岩（なべつるいわ）【奥尻】

囲炉裏で使う鍋のツル（弓形の取っ手）が名前の由来。頭上に生える樹木はヒロハノヘビノボラズ。小さな赤い実をつけます（21ページに写真あり）。



Muen Jima Island



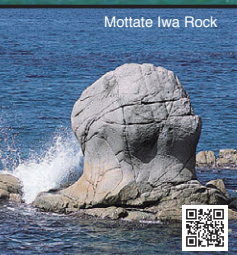
無縁島【藻内】



Hoya Ishi Stone



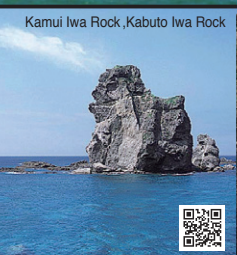
ホヤ石【藻内】



Mottate Iwa Rock



モツ立岩【藻内】



Kamui Iwa Rock, Kabuto Iwa Rock



神威岩・カブト岩【神威脇】



Cape Takinoma



滝の澗岬【海栗前】



Sainokawara Memorial Park



賽の河原【稲穂】

裏表紙に島の地図があります。島内で配布している大サイズの折り地図もご活用ください。

海と空と太陽

Sightseeing Spots

奥尻島の水平線は、「太陽」という主役と「空と海」という名脇役が活躍する舞台です。演じられるのは「島時間」の物語。

夏の朝日は、あつという間もなく空高く昇っていきます。旅の朝はいつもより早起きが吉。海沿いの散歩に出かければ、まぶしく輝く波間に浮かんだ磯舟が見つかります。8月中旬ごろまでのウニ漁か、夏の数日しかおこなわれなアワビ漁の風景です。島の漁師

たちが夜を通して釣り上げた真イカ(スルメイカ)を漁港に水揚げするのも早朝です。島の一日が始まります。

都会に流れる「街時間」に慣れた旅人が、充分すぎる島の一日に少し飽きたころ、太陽は最終幕の準備を始めます。ここからは、長い長い夏の夕日のひとり芝居です。落陽を堪能するのなら、ここはやはり島の西海岸をめざすべき。水平線の上にある夕日は、すでに足もとの影を長く伸ばすころ。印象的な陰影を刻む奇岩群の向こう、遮るもののない日本海を紅く染めながら、夕日はゆっくりと沈んでいきます。



夕日と無縁島 Sunset view near Muen Jima Island

いつの時代の物語か…。島の娘・歌子と能登の国から流れてきた清次郎は恋仲になるが、男の裏切りで歌子は沼に身を沈めました。島を訪れた僧侶「無縁」は、歌子を弔うために青苗沖の室津島で断食座禅を組むが、荒波に飲まれて西海岸の小島で息絶えます。この僧侶こそが裏切りを悔やんだ清次郎で、小島は後に「無縁島」と呼ばれました。

離島の星空【神威脇】

Starry nightview in Okushiri



朝の漁港にて【青苗】

Sunrise at the Aonae Fishing Port



球島山展望台【球浦】 Tamashima Yama Observatory



山頂の展望台から奥尻島を一望できます。海峡の向こうには北海道本島も。

うにまるモニュメント【赤石】

Unimaru Monument



鍋釣岩【奥尻】

Nabetsuru Iwa Rock



大寺屋敷【米岡】 Oderayashiki Coast



神威トンネル横【幌内】

Scenic View near Kamui Tunnel



奥尻空港の裏手にある景勝地

奥尻ブルーに高確率で出逢える海岸

Nabetsuru Festival
なべつるまつり

●開催時期／8月 ●会場／奥尻港



バラエティ豊かな企画に大笑い

島の夏をしめくくる観光&産業まつり。ずらりと並んだ屋台には、海の幸・山の幸など島の味覚がてんこ盛り。食べて飲んで笑って。



島でも希少な和牛を会場で販売



海上自衛隊掃海艇の一般公開

OKUSHIRI Moonlight Marathon

奥尻ムーンライトマラソン 奥尻マラソン 検索

漁り火や月あかりに照らされながら海岸線を走るマラソン大会です。気温がおだやかな6月に開催されています。前夜祭・後夜祭ではアワビやウニなど奥尻島のうまいものを振る舞ってランナーの皆さんを大歓迎します。



Mura Matsuri Festival
村まつり

集落ごとの小さな村まつり。出店やステージで盛りあがるまつり、神社の境内で飲み食いする「ねまりまつり」など。旅人もご遠慮なくねまってください。



地区	神社	祭典日	地区	神社	祭典日
神威脇	少名彦神社	6月7・8日	奥尻	奥津神社	8月13～15日
松江	八大龍神社	7月12日	宮津	中津島神社	8月16・17日
稲穂	鷗崎神社	8月1・2日	東風泊	海洋神社	8月19・20日
勤太浜	稲荷神社	8月4・5日	室津	室津島神社	8月20・21日
松江	少名彦神社	8月7・8日	米岡	齋明神社	9月1・2日
赤石	保食神社	8月9・10日	富里	四ツ山稲荷神社	9月9・10日
青苗	言代主神社	8月12～14日			

奥尻しりふり音頭

Shirifuri Ondo Dance



単純明快な振り付けで、誰でもすぐに踊れて、あっという間にお知り(尻)合い。

奥尻島 検索



各まつりの開催情報は観光協会ブログでご案内します。

Sainokawara Festival

賽の河原まつり

●開催日／6月22日 ●会場／賽の河原公園

歌謡ショー、ビンゴ大会(有料)、稲穂岬に大声援が響く子ども相撲大会など。賽の河原では供養のための「灯籠流し」がおこなわれます。



石積みならぬホタテ積み大会



ふるまい鍋も登場



灯籠流しの幻想的な風景

Murotsu Festival
室津まつり

●開催日／7月「海の日」前の土曜・日曜
●会場／青苗漁港

活イカ釣り・ボート漕ぎなど、漁港にちなんだ内容が青苗らしい。二日目の朝には、青苗岬沖にある室津島へ向かって、漁船団による海上渡御があります。



青苗沖で大漁と安全を祈願



まつり前に天然ウニ漁が解禁。大きなウニ鍋!



青苗港を舞台にしたゲームに会場は大爆笑。

Festivals
島まつり

隣りあった見知らぬ人が笑いあう。それが「まつり」の醍醐味。奥尻島の三大まつりで、食べて、飲んで、踊って、楽しんで。